



# 決算

## 一般会計から見る町の財政状況

私たちの生活に密接に関わっている一般会計の決算状況を見てみましょう。

歳入は約98億3千万円

歳入は、皆さんが納める町税や地方交付税、国庫支出金、県支出金、町が事業をするために借り入れる町債などが主なものです。

令和5年度の歳入総額は、98億2752万9千円で、前年度より1億4895万4千円増加しました。歳入全体では、町税や負担金、使用料などの自主財源（町が独自に調達できる財源）の割合が32.8%で、前年度より4.4ポイント増加しています。

増加した主な要因は、町税収入の増加と国庫支出金など依存財源の減少に伴う割合の

歳出は約94億1千万円

令和5年度の歳出総額は、94億747万4千円で、前年度より5663万6千円増加しました。

増加した主な要因は、統合小学校及び中学校整備事業の増加によるものです。

令和5年度の主な事業は、統合小学校及び中学校整備事業や町道長寿命化事業、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業です。

変化によるものです。

町税は、新型コロナウイルスの影響から回復傾向であることなどにより、町民税や入湯税が増加しており、町税全体で1.6%、金額にして3024万4千円の増収になりました。

町の令和5年度の決算がまとまり、9月に開かれた町議会定例会で認定されました。決算は、皆さんが納めた税など、町の収入をどのように使ったかを明らかにし、説明するものです。決算から見る町の財政状況を説明します。

【問い合わせ先】 企画財務課 ☎(62)2112

令和5年度歳入歳出決算額および対前年度比較表

単位：千円

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額	歳入		歳出		4年度	
				4年度との比較	増減率	4年度との比較	増減率	歳入	歳出
一般会計	9,827,529	9,407,474	420,055	148,954	1.5%	56,636	0.6%	9,678,575	9,350,838
特別会計	6,383	6,197	186	284	4.7%	278	4.7%	6,099	5,919
猪苗代地区財産区	2,039	1,696	343	▲301	▲12.9%	▲346	▲16.9%	2,340	2,042
翁島地区財産区	12,504	12,310	194	▲81	▲0.6%	▲182	▲1.5%	12,585	12,492
長瀬地区財産区	11,738	11,459	279	▲25,465	▲68.4%	▲25,456	▲69.0%	37,203	36,915
吾妻地区財産区	1,486,148	1,475,396	10,752	▲106,547	▲6.7%	▲109,421	▲6.9%	1,592,695	1,584,817
国民健康保険	1,878,537	1,830,797	47,740	▲32,942	▲1.7%	▲16,458	▲0.9%	1,911,479	1,847,255
介護保険	198,259	197,238	1,021	7,170	3.8%	6,525	3.4%	191,089	190,713
後期高齢者医療	3,595,608	3,535,093	60,515	▲157,882	▲4.2%	▲145,060	▲3.9%	3,753,490	3,680,153
特別会計計	13,423,137	12,942,567	480,570	▲8,928	▲0.1%	▲88,424	▲0.7%	13,432,065	13,030,991
一般会計+特別会計合計									

水道事業会計決算 ( )内は対前年度増減率 単位：千円

区分	決算額	区分	決算額
収益的収入	361,085 (2.6%)	資本的収入	61,028 (264.4%)
収益的支出	337,194 (1.7%)	資本的支出	260,371 (51.3%)

病院事業会計決算 ( )内は対前年度増減率 単位：千円

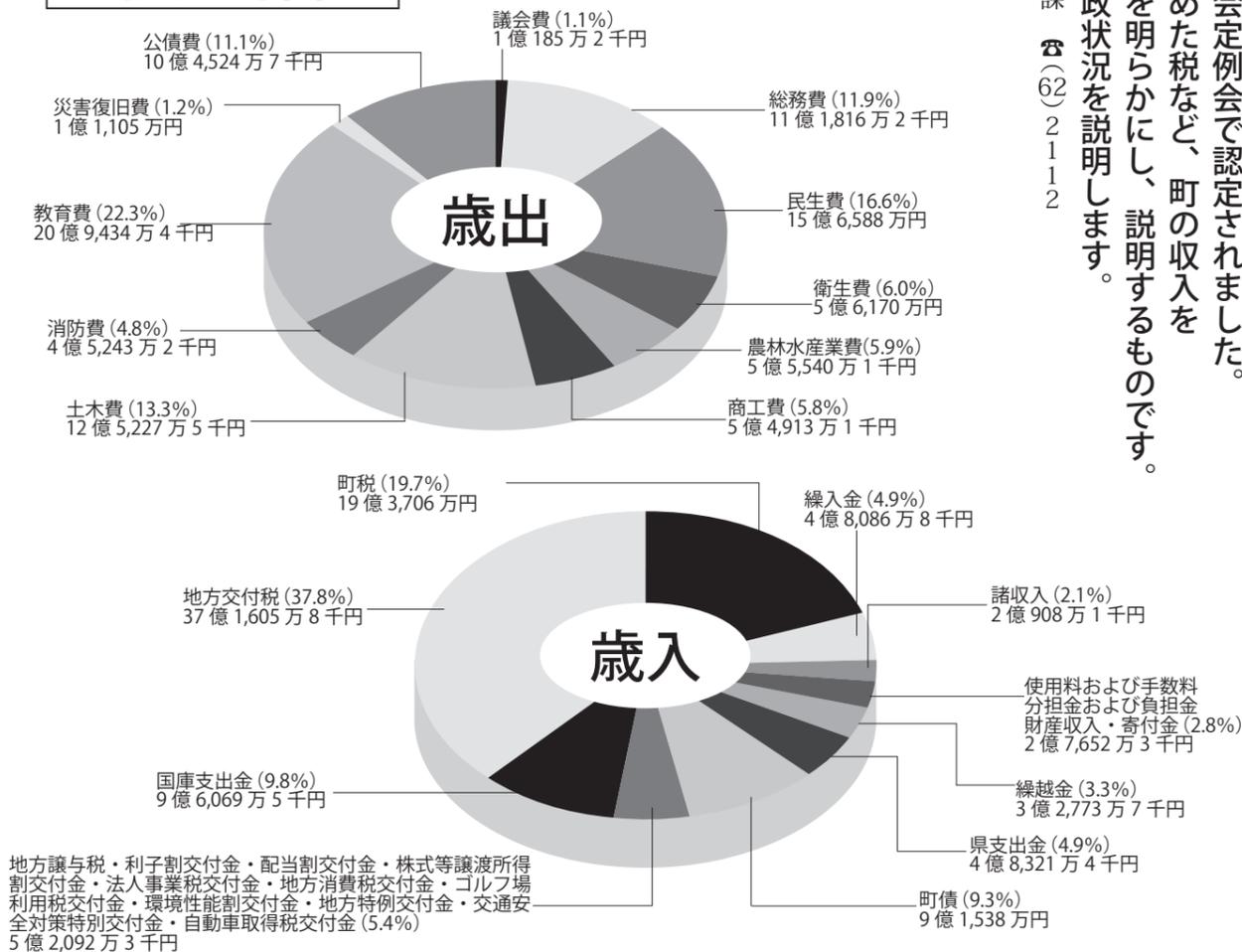
区分	決算額	区分	決算額
収益的収入	94,215 (31.4%)	資本的収入	0 (▲100%)
収益的支出	94,337 (31.6%)	資本的支出	0 (▲100%)

\*水道事業会計決算の資本的収支の不足額1億9,934万3千円と下水道事業会計決算の資本的収支の不足額1億8,607万5千円は、内部留保資金などから補てんしました。

下水道事業会計決算 ( )内は対前年度増減率 単位：千円

区分	決算額	区分	決算額
収益的収入	628,304 (▲4.1%)	資本的収入	266,021 (▲17.0%)
収益的支出	638,949 (▲5.5%)	資本的支出	452,096 (▲4.1%)

## 一般会計内訳



## 町財政指標から見る町の財政状況

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に設けられた4つの指標の状況を見てみましょう。各指標の基準を上回ることは健全な財政状況ではないことを示します。

③ 実質公債費比率は9.7%  
本町の場合、4つの指標のうち、①実質赤字比率と②連結実質赤字比率は、赤字ではないので、該当がありません。

④ 将来負担比率は28.6%  
将来負担比率は、一般会計などの標準的な年間収入に対し、将来支払うべき実質的な借入金の額がどのくらいあるかを示す割合です。早期健全化基準は350.0%です。町の将来負担比率は、基準を下回る28.6%で、昨年度の27.7%より0.9ポイント増加しました。令和5年度末の町の借入金の残高は、85億8363万9千円です。町では、財政健全化計画などを策定し、今後も経費の削減に努め、皆さんが安心して暮らせるまちづくりを推進していきます。

## 町税の負担

町民の皆さんが令和5年度に負担した町税は、年間平均で1人当たり146,946円、1世帯当たり356,208円となりました(国民健康保険税を除く)。

## 1人当たり町税負担の内訳

町民税	45,526円
固定資産税	85,710円
軽自動車税	4,055円
町たばこ税	9,356円
入湯税	2,299円
国民健康保険税	93,706円

※町税負担の内訳は、令和6年3月31日現在の住民基本台帳人口12,673人、世帯数5,228世帯、国民健康保険税は2,874人で計算しています。